

埼玉協同病院2019年度

学術大会発表(日本プライマリ・ケア連合学会除く)

- 山田歩美 ● 2019年4月27日 内科学会総会
「当院の高齢者悪性リンパ腫に対する科学療法の治療成績」

医療生協活動(班会、医療懇談会)

- 忍 哲也 ● 2019年10月19日 肝臓病教室
● 2020年2月1日 肝臓病教室

- 松村憲浩 ● 2019年9月20日～21日
お元気ですか訪問&何でも相談会

- 山田歩美 ● 2020年2月13日 医療懇談会(芝北・柳崎支部合同)講師

熊谷生協病院2019年度

医療生協活動(班会、医療懇談会)

- 小堀勝充 ● 2019年4月6日
医療生協さいたま県北地域組合員活動交流会記念講演
「地域づくりと組合員活動」
● 2019年11月15日 第2回地域医療懇談会

- 宮岡啓介 ● 2019年11月27日 妻沼支部講演「肺の病気について」
● 2019年11月15日 第2回地域医療懇談会

- 田中豊基 ● 2019年11月15日 第2回地域医療懇談会

講演(講師、ワークショップ等)

- 小堀勝充 ● 2019年6月1日 訪問看護教育ステーション事業
「在宅看取りについて」
● 2019年6月7日 行田市太田中学校
「気になるメディアと生活リズムの話」
● 2019年6月19日 市民公開講座
認知書とあゆむ熊谷家族の会 「医師が話す終活」
● 2019年8月4日 学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー
「予防接種から見える子どもの健康」
● 2019年9月24日 熊谷市医師会「病児保育の現状と感染症予防について」
● 2019年10月7日 熊谷市医師会「地域で連携した緩和ケア」
● 2019年10月17日 東京大学自主ゼミナール「ワクチン益と害」

秩父生協病院2019年度

医療生協活動(班会、医療懇談会)

- 山田昌樹 ● 2019年7月12日
ちちぶ医療協議会、予防リハビリ分科会「フレイル予防」

- 2020年2月21日
ちちぶ医療協議会、予防リハビリ分科会「フレイル予防」

さいわい診療所2019年度

学術大会発表(日本プライマリ・ケア連合学会除く)

- 関口由希公 ● 2019年5月25日 川口市医師 医学会総会
「病診連携がうまくいって在宅看取りができた慢性呼吸不全の2症例」

医療生協活動(班会、医療懇談会)

- 関口由希公 ● 2019年7月1日 さいわい診療所「キューバ視察報告」
● 2020年2月6日 さいわい診療所・健康の会
「糖尿病腎症について」

講演(講師、ワークショップ等)

- 関口由希公 ● 「アドヒアランスの視点で聞き取る服薬状況」
調剤と情報 25(11)P18-22, 2019
● 新・総合診療医学 診療所総合診療医学編 第3版、
カイ書林、2019(編集委員として)

おおみや診療所2019年度

医療生協活動(班会、医療懇談会)

- 佐藤順紀 ● 2020年2月25日 医療懇談会
「終末期医療ってな～に?—最後まで自分らしく生きる」と
いうこと—

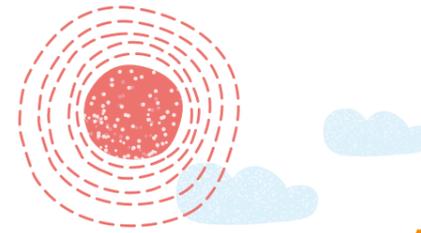
講演(講師、ワークショップ等)

- 佐藤順紀 ● 2019年11月12日 大宮ネット連携会議
「認知症・精神疾患のある利用者のケアについて」

川口診療所2019年度

講演(講師、ワークショップ等)

- 高橋 慶 ● 2019年9月7日 蕨市協働事業講座「フレイル予防とは?」
● 2020年2月1日 関東甲信越青年医師の会連絡会議学習
会「医学教育」



Annual Report 2019

さいたま総合診療医・家庭医センター
年次報告書

2019

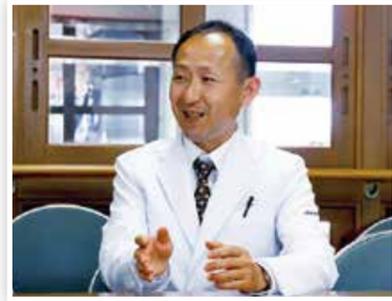
2019年度(2019年4月～2020年3月)



2018年4月から総合診療専門医が19番目の専門医として認められ、研修が開始されました。現状では、総合診療専門医の専攻医数は2018年度184名、2019年度180名、2020年度222名とまだ少なく、多くの総合診療医が活躍する状況には程遠いと言えます。(2020年度専攻医数:内科2922名、小児科565名、外科828名)。

しかも研修が開始されてからプログラムが変更されたり、それが指導医、専攻医になかなか知らされなかったりと、問題が山積みだと思います。今後は専攻する研修医や指導医にプログラムを詳しく説明し理解してもらうよう努めること、そしてどのような研修が良いのか専攻医の意見が少しでも反映できるような仕組みづくりが求められます。

とくに提出するレポート(ポートフォリオ)が当初20症例だったのが、7症例に限定されることになりました。専門医機構は「今は質より量を確保するべきとき」と説明していますが、レポートを7つに絞ったことで修了するのが容易になる一方、総合診療専門医の資格を取っただけではあまり意味がないということにもなりかねません。今後は、プログラムがどのような研修を提供し、修了するとどのような能力を持つことができるのか、個々のプログラムが質を上げていくことが求められていくと思います。



SGFAMセンター長
関口由希公
さいわい診療所所長

さて私たちSGFAMの5大ニュースをご紹介します。

- ① 佐藤順紀先生が総合医・家庭医プログラム(PC連合学会ver2)を修了しました。
- ② 伊藤美貴先生が熊谷生協病院総合診療医プログラムで後期研修を開始しました。
- ③ 松村憲浩先生が総合医・家庭医プログラムを中断し、膠原病内科の研修へコンバートしました。
- ④ 多施設の参加者を招いてCSA(Clinical Skills Assessment:臨床実技模擬試験)を開催しました。
- ⑤ 新・総合診療医学家庭医療学編第3版の執筆に山田先生、増山先生、関口が携わりました。



とくにCSAでは、受験者9名(うち3名は医療生協さいたま以外の専攻医)、評価者7名(うち3名は医療生協さいたま以外の施設の指導医)、模擬患者さん8名(うち1名は医療系学生さん)、スタッフ9名の計33名を集め、盛大に開催することができました。感じたことは、かかりやすい医師は「診療の型ができている」という基準があり、それは自分で見て真似したり、逆に意見をもらったことで格段に上達するということです。このような教育活動に医療生協の組合員さんが患者役としてかかわって頂けるのも、意義のあることだと感じました。今後もこのような教育コンテンツや交流を通じて埼玉の家庭医・総合医のレベル向上に少しでも貢献していきたいと考えています。

SGFAM概要	1	2019年度 レジデントデイ開催報告	5
センター長挨拶	1	臨床実技試験(CSA: Clinical Skills Assessment) 模擬試験	6
ミッション・ビジョン	2	第31回 学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー	7
医療生協さいたま事業所紹介・教育施設紹介	3	プライマリ・ケア学生実習	8
SGFAM 研修プログラム紹介	4	第10回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(京都)	9
指導医・レジデント紹介	4	WONCA Asia Pacific conference 2019 in Kyoto, Japan.	10
2019年度 SGFAM企画開催・活動一覧	5	第8回 日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会	10
		2019年度 SGFAMジャーナル	11

SGFAM 2つのミッション

さいたま総合診療医・家庭医センター

医療生協さいたまの総合病院で働く総合診療医と
診療所で働く家庭医が連携し、
お互いの長所を生かしながら、
それぞれの力量をアップさせること。

埼玉の総合医・家庭医を
増やすこと。

SGFAM ビジョン

臨床

8つの診療所に
所長・副所長を
川口・さいたまの
在宅医療をセンター化

教育

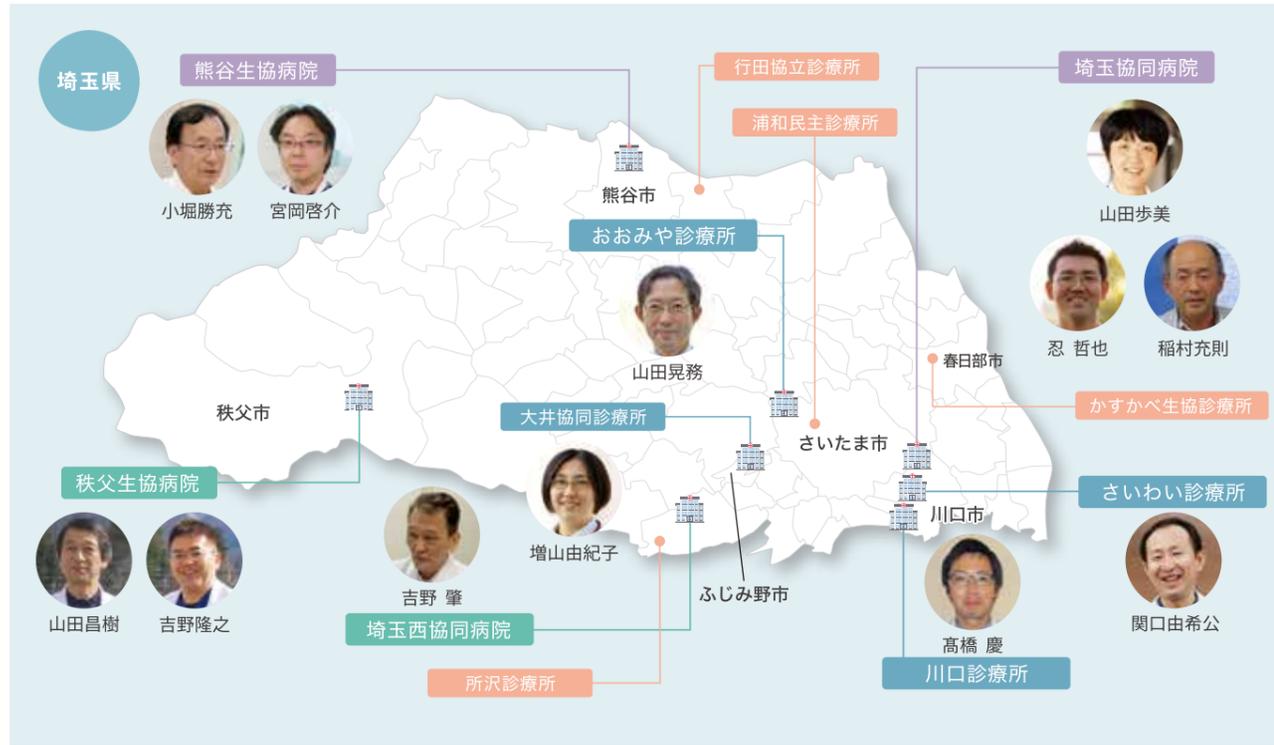
協同病院の急患外来を
研修部門に
初期研修医の研修指導を
引き受ける

研究

核になる研究指導員を
養成
病院・診療所の
他施設で疫学研究

交流

毎年オール埼玉で
研修医オリエンテーション
定期的な
カンファレンスの開催



SGFAMの養成する
総合診療医・家庭医

- 診療所でも、中小病院でも、大病院の総合診療科でも働くことのできる医師
- 得意分野、サブスペシャリティを持って働くことのできる医師
- 臨床、教育、研究のバランスを自ら考え、生涯学び続けることのできる医師

総合診療専門医 一般社団法人 日本専門医機構認定プログラム
 さいたま総合診療医・家庭医センター 埼玉協同病院 総合診療医プログラム
 さいたま総合診療医・家庭医センター 熊谷生協病院 総合診療医プログラム

指導医・レジデント (2019年度)



◆ 指導医 日本プライマリ・ケア連合学会認定 プライマリ・ケア認定医・指導医
 日本プライマリ・ケア連合学会認定 家庭医専門医・指導医

関口由希公 せきぐちゆきひろ さいわい診療所 所長 家庭医専門医 プログラム責任者	増山由紀子 ましまゆきこ 大井協同診療所 所長	山田歩美 やまだあゆみ 埼玉協同病院 総合診療専門医 プログラム責任者	山田昌樹 やまだまさき 秩父生協病院 院長 家庭医専門医 プログラム責任者	吉野隆之 よしのたかゆき 秩父生協病院	小堀勝充 こほりかつみ 熊谷生協病院 院長 総合診療専門医 プログラム責任者
宮岡啓介 みやおかけいすけ 熊谷生協病院	吉野 肇 よしのはじめ 埼玉西協同病院 院長	山田晃務 やまだてるちか おおみや診療所 所長	忍 哲也 しのびてつや 埼玉協同病院	稲村充則 いなむらつりのり 埼玉協同病院	

◆ スタッフ医師

高橋 慶 たかはしけい 川口診療所	久志本舞衣子 くしもとまいこ 埼玉協同病院	佐藤順紀 さとうじゆんき 2019年度修了	松村憲浩 まつむらのりひろ 2020年度修了予定	村岡雷太 むらおかいた Ver1.0 専攻医	伊東美貴 いとうみき 2021年度終了予定 熊谷PG
-------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--------------------------------	------------------------------	-------------------------------------

◆ レジデント(専攻医)

SGFAM概要

研修基幹施設

病院名	熊谷生協病院	埼玉協同病院
病院名	埼玉西協同病院	秩父生協病院

教育施設(病院群)

教育施設(診療所群)

病院名	さいわい診療所	大井協同診療所	おおみや診療所	川口診療所
-----	---------	---------	---------	-------

その他診療所

病院名	行田協立診療所	かすかべ生協診療所	浦和民主診療所	所沢診療所
-----	---------	-----------	---------	-------

開催日	レジデントデイ 開催日程	日本プライマリ・ケア連合学会 開催企画等	医療生協さいたま・SGFAM企画 その他
2019年4月	4月20日(土)		
5月		5/15(水)~18(土) WONCA Asia Pacific Regional Conference 2019 5/17(金)~19(日) 第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(京都府京都市)	
6月	6月15日(土)		6/1(土)~2(日) プライマリ・ケア学生実習まち歩き@大井協同診療所
7月	7月20日(土)	7/14(日)~15(月・祝) 家庭医療専門医試験(千葉県成田市)	
8月	8月17日(土)	8/3(土)~5(月) 第31回学生・研修医のための家庭医療学夏季セミナー(神奈川県熱海市)	
9月	9月21日(土)		9/12(木)『第1回医学教育初学者向けレクチャー』 講師:大西弘高(東京大学医学系研究科医学教育国際研究センター-医学教育国際教育部門)
10月	10月19日(土)		10/31(木) SGFAMプライマリ・ケア講習会 IPWのすゝめ1回目@埼玉協同病院
11月	11月16日(土)	11/15(金) 第13回埼玉プライマリ・ケア連合研究会(埼玉県さいたま市) 第8回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会(茨城県つくば市)	11/14(木) SGFAMプライマリ・ケア講習会 IPWのすゝめ2回目@埼玉協同病院
12月	12月21日(土)		12/9(月)「医学生が診療所で学ぶ意義～大学が地域の診療所に期待するもの～」 講師:井上真智子(浜松医科大学地域家庭医療学講座特任教授) 12/12(木)『第2回医学教育初学者向けレクチャー』 講師:大西弘高(東京大学医学系研究科医学教育国際研究センター-医学教育国際教育部門)
2020年1月	1月18日(土)		
2月			2/15(土) 第3回CSA(Clinical Skills Assessment)@埼玉協同病院 2/27(金)『第3回医学教育初学者向けレクチャー』 講師:大西弘高(東京大学医学系研究科医学教育国際研究センター-医学教育国際教育部門)
3月	3月21日(土)		3/21(土) 家庭医療専門医後期研修修了式@埼玉協同病院

2019年度 レジデントデイ開催報告

レジデントデイでは、専攻医と指導医が月に1回集まり、研修について振り返りを行います。

開催場所：埼玉協同病院 他

参加者名：■指導医：関口、山田(あ)、高橋、小堀、増山、忍、吉野(は)、山田(ま)、吉野(た)、山田(て)、田中、宮岡、平澤、稲村、久志本

■レジデント：村岡、佐藤、松村、伊東 ■事務局：芦野、市川、根岸

内容報告

4月 4月より熊谷生協病院・総合診療プログラムで研修を開始した専攻医1年目の医師の自己紹介が行われました。総合診療専攻医2年目からは、4月より主治医として患者を受持つことになったことが報告され、指導医からは「プログラムとポートフォリオの作成について」のレクチャーが行われました。

6月 熊谷総合診療専攻医1年目が初めてClinical Jazzを行い「家族志向型ケアの症例」について報告。他の専攻医からは5月に行われたWONCA、PC学会での発表について報告されました。指導医から「患者中心の医療の方法」についてレクチャーがあり、それをもとに前年度2月に行われたCSAのビデオレビューが行われました。

7月 専攻医2名がClinical Jazzを行い、それぞれ症例報告をしました。前月に引き続きCSAビデオレビュー、指導医から「行動変容のアプローチとしてLEARNの5段階、重要度・自信度モデルについて」のレクチャーが行われました。

8月 夏季セミナーに参加した専攻医からセッションの概略、アンケート結果や当日の様子についての報告が行われました。指導医から、キューバへ医療視察に行ったことの報告がされました。

9月 診療所にて研修を行っている家庭医専攻医がClinical Jazzを行い、「認知機能低下あり廃用が進んでいる高齢女性と、医療介入を

拒否したがる夫の1例」の報告をしました。

10月 専攻医2名がClinical Jazzを行い、それぞれ症例報告をしました。今年度開催予定のCSA模擬試験の内容についての検討が行われました。

11月 専攻医のClinical Jazz、また前年度のCSAビデオレビューが行われました。PC学会地方会への参加、次回開催予定SGFAM主催の講習会等について検討・確認が行われました。

12月 秩父生協病院にて2ヵ月間研修を行った専攻医より研修の報告がされ、4分割法にて振り返りを行いました。また引き続き、前年度のCSAビデオレビューが行われました。

1月 専攻医のClinical Jazz、前年度のCSAビデオレビューが行われました。また、指導医から「特任指導医講習会」参加の報告等がされました。

3月 専攻医のClinical Jazz、熊谷総合診療プログラム管理委員会の報告が行われました。また家庭医3年目専攻医の研修修了発表会が開催され、専攻医より修了発表がされました。指導医はじめ修了発表会参加者から励ましの言葉が寄せられ、修了証が授与されました。

開催日：2020年2月15日 開催場所：埼玉協同病院

参加者名：【評価者】埼玉県内で働く家庭医療専門医・指導医

【模擬患者】医療生協さいたまSPの会

内容報告

CSAは家庭医療専門医試験でも実際に行われる試験です。SGFAMでは、専攻医の形成的評価として実施しますが、卒年の専攻医にとっては、本番の試験の練習としても活用してもらっています。今回は医療生協さいたまだけでなく、埼玉県内の他病院で研修をしている専攻医も参加してくれました。



模擬患者さんには医学生から70歳代の方まで。初めての方も「楽しかった」「先生方がみんな真剣に取り組んでいる姿が見て嬉しかった」「組合員として医師教育に関われるなんて貴重な経験です」と感想を言ってくれました。



模擬診察は10分。終了直後に模擬患者さん、評価者(医師・看護師・事務)からフィードバックを受けるのが、このCSAの特徴です。受験者からは「フィードバックがすぐに聞けて有難かった。患者さん目線の話が聞けて勉強になった」と、学びの多い時間であることが伺えました。



小児診療ステーション:家庭医は患者さんの特定臓器に着目するのではなく、地域に住むあらゆる年齢、性別の患者さんの健康問題に向き合って治療を行います。そのため、小児の診療は大事な評価のひとつとなります。文字通り『家族を診る』家庭医を養成しています。



今回は初期研修医2年目も参加しました。「外来診療の経験が少ない中ではなかなか難しい試験でした。でも良い経験になりました。今後の糧にしたいと思います。」と感想を言ってくれました。

SGFAMセンター長 さいわい診療所所長 関口由希先生

オール埼玉で家庭医・総合診療医を育てよう

「専攻医の先生方の診療姿勢を見ることで、実は我々指導医、スタッフが一番勉強になっている。若い先生たちの態度や声かけ、真剣に患者さんと向き合う姿を見て、私たちが自分自身を振り返る機会となりました。ありがとうございました。」とお互いに学び合うことができることに感謝の挨拶をしました。



開催日：2019年8月3日～5日 開催場所：神奈川県湯河原郡河原町
 参加者名：【8/4講師】熊谷生協病院：小堀院長、添島（看護師）、鶴本（事務） 本部医師部：藤元（事務）、芦野（事務）
 【8/5講師】埼玉協同病院：瀧井（初期研修医）、橋本（初期研修医）、松村（専攻医）、村田（看護師）、
 長谷川（事務）、戸田（本部医師部）、千葉（本部医師部）、藤元（本部医師部）

内容報告

【8/4セッション】

予防接種から見える「子どもの健康」を
多職種チームで考えてみた

セッションでは予防接種の基礎知識のクイズ・レクチャーから始まり、プライマリ・ケア現場でよくある質問への対応を学生さんが考え、ロールプレイで実践してもらいました。また、ケースワークでは「赤ちゃんから高齢者まで継続して、包括的に診療をする家庭医として、ワクチンを接種するだけでなく、そこから見える、家族や地域の健康問題」についても考えてもらうワークも取り入れました。学生の皆さんに、予防接種から広がりを見せるプライマリ・ケア現場の魅力を伝えられたのではないのでしょうか。今回は医師だけでなく、多職種が準備から当日まで大活躍してくれました！



【8/5セッション】

『医療費が払えません』と言われたら・・・
あなたならどうする!?

支払い困難な患者さんを「問題患者」とするのではなく、困難な状況を知り、支える医療者になることが伝えられたセッションでした。地域連携を担当している看護師の村田さんからの「患者さんの本当の想いは患者さんの中にある」というメッセージは、状況を推測し解決に導こうとしがちな医療者の行動を改めて見直す機会となりました。

事務と初期研修医が日常業務でよくある事例を土台に、ネガティブになりがちな経済的困難事例を通して「患者さんを丸ごと受けとめる大切さ」というメッセージが学生さんに届いたセッションとなりました。



開催日：2019年6月1日～2日
 実習事業所：大井協同診療所、周辺まちあるき 実習参加者：9名（1年生から4年生まで）

内容報告

6月1日～2日にかけて、医学生9名が参加し大井協同診療所や、ふじみ野市地域を利用し、プライマリ・ケア学習企画を開催しました。1日目は大井協同診療所かかりつけの患者さんのお宅へお邪魔し、患者インタビュー、ふじみ野地域のまち歩き（地域診断）を行いました。2日目は、1日目の内容を踏まえて「ふじみ野地域の健康問題を考える」をテーマにグループワークを行いました。



開催日：2019年8月13日～15日
 実習事業所：埼玉協同病院、熊谷生協病院、くまここ（小規模多機能型居宅介護） 実習参加者：4年生

内容報告

医療生協さいたまの施設を利用して医学部の4年生が3日間の実習に参加しました。1日目は埼玉協同病院にて救急医療を中心に地域の急性期医療を担う現場を見学し、2日目は熊谷生協病院にて外来や病棟での診療見学、また隣接する「くまここ（介護複合施設）」にて宿直体験を行いました。3日目は熊谷生協病院の小児外来見学、訪問診療への同行実習を行いました。それぞれの病院・施設の役割を学び、自分の医師像を見つめなおす実習となりました。



開催日：2019年8月23日～24日
 実習事業所：埼玉西協同病院、グループホームさんとめ 実習参加者：1年生

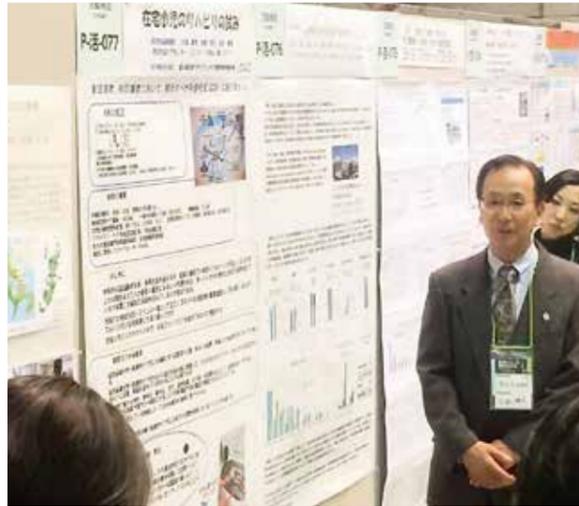
内容報告

医学部1年生が「実際の医療現場をみてみたい!」と2日間の実習に参加しました。西協同病院では多職種スタッフへの同行実習や在宅医療・夜間外来の現場を見学しました。グループホームさんとめでは介護スタッフのお手伝い、利用者さんとの交流を行いました。また、地域住民と病院が協同で企画する「平和コンサート」にも参加し、地域住民と医療・介護機関の関りに触れた2日間となりました。



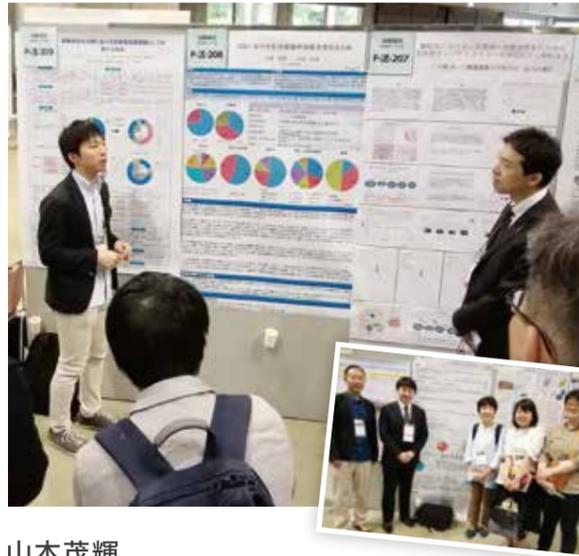
開催日：2019年5月17日～19日 開催場所：国立京都国際会館

SGFAM参加者 演題発表一覧



小堀勝充
(医療生協さいたま 熊谷生協病院 医師)

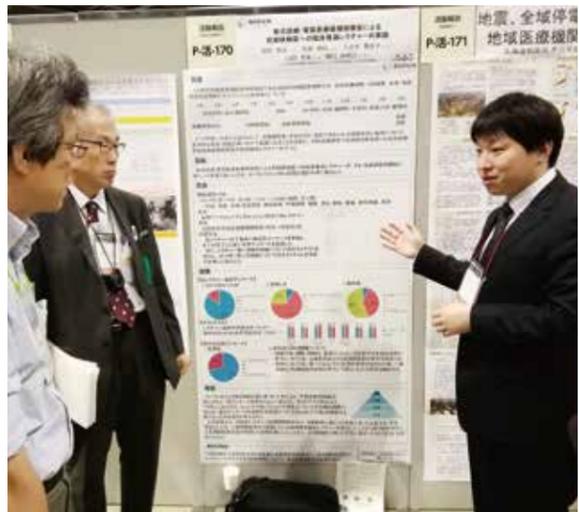
- 在宅小児のリハビリの試み



山本茂輝
(医療生協さいたま 埼玉協同病院 初期研修医)

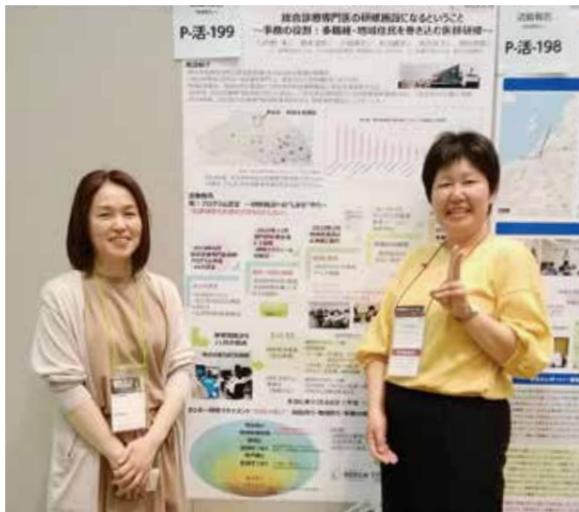
山田歩美
(医療生協さいたま 埼玉協同病院 医師)

- 当院における生活保護申請希望者のまとめ



松村憲浩
(医療生協さいたま 埼玉協同病院 専攻医)

- 総合診療/家庭医療後期研修医による初期研修医への臨床推論レクチャーの実践



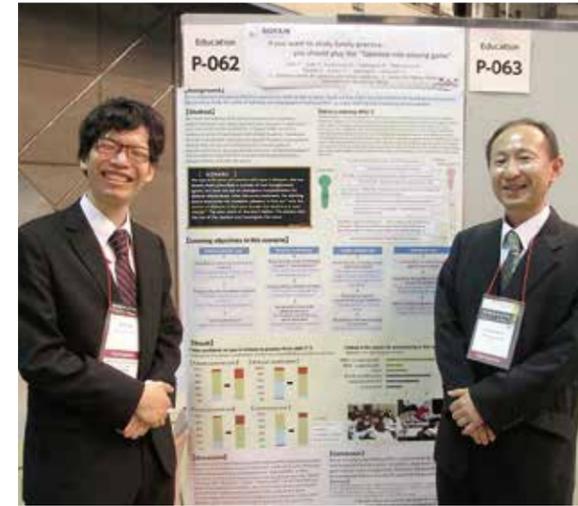
鶴本里香 ※写真左
(医療生協さいたま 熊谷生協病院 事務)

芦野 朱 ※写真右
(医療生協さいたま SGFAM 事務)

- 総合診療専門医の研修施設になるということ
～事務の役割:多職種・地域住民を巻き込む医師研修～

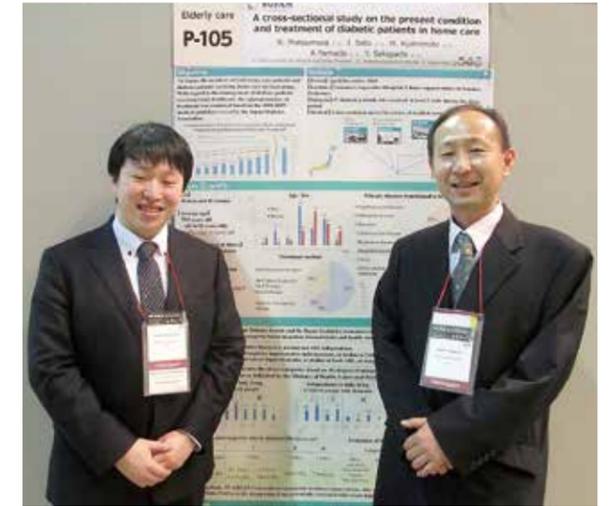
開催日：2019年5月15日～18日 開催場所：国立京都国際会館

SGFAM参加者 演題発表一覧



佐藤順紀 ※写真左
(医療生協さいたま 埼玉協同病院 専攻医)

- If you want to study family practice, you should play the "Tabletop role-playing-game"



松村憲浩 ※写真左
(医療生協さいたま 埼玉協同病院 専攻医)

- A cross-sectional study on the present condition and treatment of diabetic patients in home care

インタラクティブセッション



高橋 慶
(医療生協さいたま 川口診療所 医師)

- Key Features問題を使ってプライマリ・ケアに必要な多領域のスキルアップをしよう

開催日：2019年11月17日 開催場所：つくば国際会議場(茨城県つくば市)

芦野 朱 (医療生協さいたまSGFAM 事務)

- さいたま総合診療医・家庭医センター(SGFAM)「プライマリ・ケア実習」実践報告 ～事務発「魅せるプライマリ・ケア実習」のポイント～

